

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～

(Ref No : 18-030)

1 菌類の研究は、プラスチックを分解する未知の微生物を明らかにする  
(ロンドンの科学者グループは、ポリウレタンを数週間で分解可能な菌を世界  
で初めて開発)

[原文](#)

(30 October 2018, UNEP)

2 フィジーのコンロテ大統領が、1期目の政権(3年)を終え、2期目を迎える

[原文](#)

(5 November 2018, FijiTimes)

3 国際海運会議所(ICS)会長は、次々と進む(船舶の)自動化を含む技術  
開発に、より効果的に対応するため、船員の研修や資格について規定する  
STCW条約の改正を要請

[原文](#)

(6 November 2018, The Maritime Executive)

4 「台湾と国交のある太平洋島嶼国6か国は、APECの前に中国が開催する  
「中国・太平洋島嶼国サミット」に招待を受けるも参加しない」と台湾外務省  
高官が議会の公聴会にて説明

[原文](#)

(7 November 2018, Focus Taiwan)

5 「オーストラリアは、20億USドルをかけて太平洋島嶼国のためのインフ  
ラ開発銀行の設立を行い、また、在外公館を複数の国(パラオ、マーシャル諸  
島、フランス領ポリネシア、ニウエ、クック諸島)に設置する等太平洋島嶼国  
との関係強化を進める」とオーストラリア首相が説明

[原文](#)

(8 November 2018, ABC)

6 ニュージーランドは、パプアニューギニアで開催されるAPECを支援する  
ために、軍艦、航空機、特殊部隊等を派遣する予定

[原文](#)

(6 November 2018, Radio NZ)

7 「ニュージーランドは、670 万 US ドル規模の太平洋基金（Pacific Enabling Fund）を設置し、太平洋島嶼国との文化・スポーツ外交、人々の交流、軍事協力活動等に充てる」とニュージーランド外相が説明

[原文](#)

(8 November 2018, Radio NZ)

8 「クック諸島は中国の一带一路構想に賛同し、APEC において中国との合意文書に署名する予定である」とクック諸島財務大臣が発言（なお、クック諸島はニュージーランドと事前の調整を実施）

[原文](#)

(9 November 2018, Radio NZ)

9 マーシャル諸島の議会において、RASAR 計画（ロンゲラップ環礁を発展させるための経済特区の設立、中国人投資家の支援あり）、マーシャル政府公認の仮想通貨等をめぐり、大統領に対する不信任案が提出。大統領はこれに対し「中国の影響がその背景にある」と非難。12 日に国会での採決の結果、賛成 16、反対 16 の同数となり、定数 33 の過半数（17）に届かず、不信任案は否決

[原文](#)

(9 November 2018, Radio NZ)

[原文](#)

(9 November 2018, The Guardian)

[原文](#)

(9 November 2018, The South China Morning Post)

[原文](#)

(12 November 2018, Marians Variety)

[原文](#)

(12 November 2018, Radio NZ)

[原文](#)

(13 November 2018, Cointelegraph)